



GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER 国際ロータリー第2830地区
2024-25年度 ガバナー月信



米谷恵司ガバナーエレクト国際協議会参加報告の諮問委員会にて。
(2025.2.23)

Contents

- ・ 巻頭言
- ・ 今月のガバナーメッセージ
- ・ ロータリー特別月間
- ・ 国際協議会出席報告
- ・ 地区委員長紹介

- ・ グローバル補助金事業
- ・ 地区補助金奨学生レポート
- ・ 地区職業奉仕セミナー開催報告
- ・ 映画「じょっぱり」上映会報告
- ・ お知らせ
- ・ 会員動向

国際ロータリー第2830地区事務所
〒030-0812 青森市堤町1丁目1-23 ホテル青森内
TEL.0173-732-2830/FAX.017-732-2831
E-MAIL rid2830@outlook.jp

巻頭言

先月も雪の話題から始まりましたが、今年は2月下旬となっても冬将軍の猛威は収まるどころを知らず、弘前では1982年以降、観測史上最深の積雪160cmを記録したそうです(2月24日東奥日報)。春待ち遠しい今般、ロータリアンの皆様はいかがお過ごしでしょうか。

2月23日は、国際ロータリー創立120周年という記念すべき一日でした。当日は、地区諮問委員会が行われ、米谷ガバナーエレクトから、2月9日から13日までアメリカフロリダ州オーランドで行われた国際協議会の出席報告がなされました(6頁参照)。

デ・カマルゴ(マリオ)RI会長エレクトは、2月10日のスピーチで、「UNITE FOR GOOD(よいことのために手を取りあおう)」という次期会長メッセージを発表し、会員増強を最優先事項とすること、成長のための3つの柱として、①革新、②継続性、③パートナーシップが重要であると述べました。注目すべきは、会員増強を「単に数字を増やすことではなく、集合体としての私たちの力をさらに高め、ロータリーの使命を継承していくこと」であると述べている点です。アーチック会長が「Irresistible」と表現したロータリーの魅力を、内向きではなく、ロータリーの外側からも取り入れることを強調しているように感じます。そして、会員がロータリーの最大の財産であると表現しています。私たちは、ロータリーを構成するひとりのロータリアンとして、奉仕活動を行い、自分を磨き続けて行くことの大切さに思いをいたすべきでしょう。



RI会長テーマはなくなったのではないのか、行動計画(Action Plan)はどうなったのか、等

の疑問はこれから次年度への準備を進めていく中で、様々な情報が明らかになっていくでしょう。米谷エレクトは、地区のスローガンを3月2日の地区チームラーニングセミナー(DTLS)で発表するということですので、お楽しみに。



会員増強に関して言えば、あらためて、私たち2830地区が2026年7月1日時点で1100名の会員を維持しなければ、隣接地区と合併することがRI理事会で決議されていることに変わりはありません。2月24日現在、会員数は1128名です。過去3年に比べて多いとはいうものの、退会者が増える6月30日を念頭におくと、セーフティゾーンとは言えない数字だと思っています。引き続き地区のロータリアンの皆様の会員増強へのご協力をよろしくお願いいたします。

さて、2月23日の午後からは、今年度第2回目のRIファシリテーター研修会が行われました。3月22日、23日の会長エレクトラーニングセミナーで行われる予定のセッションを担当するディスカッションリーダーの皆様の研修会です。参加される会長エレクトの皆様は、自分のクラブの活性化に向けた問題点を把握し、これを克服してクラブの成長に繋げるためのヒントを持ち帰ってほしいと思います。

次年度の準備も本格化しますが、残された今年度の課題を今一度確認して、次年度に繋げるための行動をしていきましょう。

※2025-26年度会長メッセージは、My Rotaryのほか、地区のホームページからご覧いただけます(<https://www.rid2830.org/informations/232>)



今月のガバナーメッセージ

「奉仕活動の継続性を意識しよう」

ガバナー 花田 勝彦

いよいよ5つの重点事項の最後の項目となりました。

米谷ガバナーエレクトが参加された国際協議会で、RIの次期会長デ・カマルゴ氏が次年度の会長メッセージを発表されたタイミングでの執筆です。

ロータリーの「ワン・イヤー・ルール」は、ロータリーのリーダーは1年で交替するという伝統的なルールです。リーダーが交替することによって新たなアイデアが生まれ、活性化に繋がるというメリットがありました。しかし、時代の変化とともに、奉仕活動の継続性が意識されるようになりました。

アーチック会長がいう継続性は、一つはリーダーが前任者や後任者と協力していくべきであるということと、今一つは成功しているクラブの奉仕活動は継続すべきであるということです。

ガバナーエレクト、クラブ会長エレクトのラーニングセミナーにとどまらず、ガバナーノミニーの研修(GNTS)が行われるようになり、近時はガバナーノミニー・デジグネートの研修も実施されています。クラブでも、早期に次年度、次々年度の会長を決めて、研修と円滑な引継が行われるべきです。

そして、今年度からは、「3-Year Rolling Goals」という3年間の目標をクラブレベルでも設定することが求められるようになり、My Rotaryのクラブセントラルに3年間の数値目標を入力することができるようになりました。

「3-Year Rolling Goals」で大切なことは、決して数値目標を入力することにあるのではなく、クラブの会長、会長エレクト、会長ノミニーが一堂に会して、クラブの将来を協議

することにあると思います。より分かりやすく言えば、自分のクラブを一言で表し、「私の所属する●●ロータリークラブは、■ ■というクラブです。」というスローガンを作ることです。「■ ■」に入る言葉をクラブで話し合ってもらいたいと思います。例えば、「○○ロータリークラブは、親睦を大切にしているクラブです。」とか、「△△ロータリークラブは、青少年の奉仕活動を重視しているクラブです。」などです。それは、必ずしもクラブの現状を表す言葉ではなく、あるべきクラブの姿でもいいでしょう。その姿を目指して、クラブのリーダーは1年間の任期中、目標を設定して、その達成に向けたさまざまな活動を行い、それを次のリーダーに繋げていくことが大事なのだと思います。

先日来、ガバナー補佐を通じて、各クラブの会長の皆様に、公式訪問の会長幹事会の際に課題となったことの進捗状況の報告をお願いいたしました。あわせて、各クラブにおかれては、12月に会長ノミニーが選出されていれば、現会長、会長エレクト、会長ノミニーの三者で、クラブの将来を話し合う機会を設けてほしいというお願いもいたしました。その際、自分たちのクラブを一言で表す「■ ■」に入る言葉を考えてみていただきたいと思います。

3月は地区チームラーニングセミナー(DTLS)、会長エレクトラーニングセミナーと、次年度の準備が本格化していきます。クラブの現会長の皆様におかれましては、会長エレクトへの引継を意識して、自分の年度でやり残したことをチェックしてみてください。そして、残りの4か月で、その課題を実行していきましょう。

ロータリー特別月間

「水と衛生月間」

ガバナー 花田 勝彦



パキスタン・カントンメント駅の、壊れた水飲み場

RIの7つの重点分野の中でも、最も身近な奉仕活動の分野の一つだと思います。

まずは、当地区で長く続けているタイ3330地区への浄水器の寄贈や、近年の学校、幼稚園のトイレ改修等の衛生設備の設置というグローバル補助金事業をあげることができるでしょう。

地区補助金事業でも、東北ロータリークラブの小川原湖クリアウォーターリバイバル事業等、この分野での奉仕活動に取り組んでいるクラブも多いことと思います。

アーチックRI会長の「ロータリーのマジック」というテーマも、ドミニカ共和国での浄水器設置プロジェクトで、地元の子供たちがきれいな水に変える浄水器を「マジック」と言ったエピソードに基づくものでした。

昨年11月に訪れたパキスタン・カラチ

でも、ポリオ根絶とともに、あるいはそれ以上に、飲料水を確保するということの大切さを目の当たりにしました。「ロータリーボイス」では、2022年にカラチでグローバル補助金を利用した第2660地区の太陽光発電の浄水器設置プロジェクトが紹介されていました([https://rotaryblogia.org/2023/11/06/安全な水とワクチン投与を通じてパキスタンでの/#more-](https://rotaryblogia.org/2023/11/06/安全な水とワクチン投与を通じてパキスタンでの/#more-10533)

[10533](https://rotaryblogia.org/2023/11/06/安全な水とワクチン投与を通じてパキスタンでの/#more-10533))。安全な飲み水を提供することによって、ポリオの根絶に繋げようという発想は素晴らしいことであり、当地区でも是非実行したいと思っています。

パキスタンのカントンメント駅で見た水飲み場は、どこかの団体が寄贈した、浄水器によりきれいになった水が蛇口をひねると出て来るといふものでした。しかし、壊れていて、全く使い物になりません。まだ新しさを残しているのに、なぜそのようなことになるのでしょうか。

パキスタンでは、日本人のロータリアンが寄贈した浄水器の贈呈式に日本人を代表して参加する機会もありました。浄水器を設置する場所は、寺院です。壊されにくく、盗まれにくい場所なのだそうです。自動販売機がほとんどないという話も聞きました。これも壊されて中の商品やお金が盗まれてしまうのだとか。



インド系移民の住むスラムの
手動のポンプがある水汲み場

インド系の移民が住むスラムにも行きました。ここでは、川を一つ隔てた場所には電気が通っています。電気が通っている間は、電気のない川の対岸では水をくみ上げる手動のポンプが作動しないのだとか。ようやくポンプが作動するようになると、みな我先に飲料水、生活用水を確保しようと必死です。また別の国では、子供たちが何キロも歩いて水を汲みに行く生活を強いられているのは、皆さんも何かでご覧になったことがあると思います。

こうしてみると、水の大切さは今さら言うまでもありませんが、私たちは水のある生活が当然すぎて、このような不便な状況を実感するまで、少し時間がかかるように思えます。

しかし世界にはまだまだそのような場所が存在しているのです。

タイに話を戻すと、バンコクから南へ飛行機で約1時間のナコンシータマラーン県を1月に訪れたとき、

本当にたくさんの子供たちがきれいな水をまだ手に入れていないことを実感しました。ウィチャイPGが長年に渡ってライフワークとしてきた学校への浄水器の寄贈は、まだ道半ばであり、豊富なノウハウと純粋な奉仕の心、プレゼンや他者への気配り等、学ぶところがたくさんありました。トイレの改修はここ数年実施していますが、水と衛生という観点からは、合わせて実施すべき奉仕活動であるといえるでしょう。

私たちは雪国に住んでいて、春になると雪解けが進んで雪が水になります。田中角栄が言った「雪是水」の話を思い出して、タイの浄水器の贈呈式でご挨拶をしました。タイの多くの子供たちは、まだ雪を見たことがない子が多いです。きれいな水への憧れは、雪への憧れに通じます。そして、世界で最も清潔なトイレを誇る日本への憧れもあることを忘れないようにしたいと思います。



タイに寄贈した浄水器のプラント

国際協議会出席報告

ガバナーエレクト 米谷 恵司
(青森モーニングRC)

ガバナー月信 2025年国際協議会参加報告

1. 日時 2025年2月9日(日)～13日(木)
※時差14時間 日本が進んでいる
2. 場所 アメリカ・フロリダ州 オーランド
「ローゼン・シングル・クリーク」
3. 目的 次年度地区ガバナーやクラブリーダーがロータリーの基本理念や活動方針を学び実践的な知識を深めることをを目的とし、また各国のロータリアンとのネットワークを広げ、情報交換を行う貴重な機会でもあります。





参加者は世界各国 535 の地区より、 約 2000 人が参加致しました。

- ▶ そのうち日本は34地区よりDGE、パートナー含め60名の参加人数であった
- ▶ 60名が行程により4グループに分かれ参加いたしました。
- ▶ その他関係者を含めると合計120名は越えていたと思います。
- ▶ ※帰国後5日目の2月19日（水）2740地区（長崎・佐賀）
- ▶ DGE 辻 幸徳氏（享年74歳）でご逝去の訃報

研修内容

1 協議会コホートプログラム

今回初の試みとして、全てのDGEが国際的なコホート（5～6人のグループ）に分けられ話し合いをする。私は日本DGE+パートナー、アメリカ、オーストラリア+パートナーの計6人でした。

2 行動計画を前進させる（L F 安間みちこ（第2地域担当））

特にロータリーの「行動計画」を中心にセッションを実施

3 ロータリーの価値を共有する（L F 滝澤功治（第3地域担当））

新クラブの設立、ロータリーの公共イメージ、ロータリーの価値を確認する等のセッションを実施

4 クラブでの体験（L F 滝澤功治（第3地域担当））

クラブでの体験の測定と向上、最も大切なのは「クラブでの体験」
若い世代の人々とともにこの項目について実施

5 インクルージョンのためのコーチング

チーム8人～10人でのアクティブティ
スパゲッティ、セロテープ、紐を使用し高いタワーを組み、一番上にマ
シュマロを支えることが出来るか？
適材、適所とリーダーシップスキルを学ぶ

6 奉仕のインパクト（ANNA KONIG）

日本人12人、外国人8人の混合でのセッション（同時通訳あり）
地域社会調査の実施、チームの構築とパートナーの育成、インパクトの
測定等例を参考にセッション

外国勢に圧倒されました！！

7 世界でよいことをしよう（L F 久木佐知子（第1地域担当））

ポリオ根絶におけるロータリーの役割
成功に向けた計画を立てる：DDF、話し合いのための質問、奉仕のための資金
の各項目についてセッション実施

8 CDSからの地域支援（クラブ・地区支援室担当縄田 怜）

地区ガバナー配分予算のスケジュール地区の年次財務表及び財務報告書
※以上担当者からの説明及び報告
ガバナーの役割と責務：一般的な課題を各種シナリオをもとにセッション

9 次年度に向けて（L F 滝澤功治（第3地域担当））

協議会での経験を振り返る、次年度に向けて、次年度の計画を立てる

10 ロータリーシニアリーダーとの地域セッション

日本DGE 及びパートナー合同で水野R I 理事進行による意見交換会
積極的に意見を述べた方はいつも通り！



成長のための「不可欠な3つの柱」として、革新、継続性、パートナーシップを挙げました。

私が特に印象深く心に残ったのが以下の言葉です。

革新しながらも一貫した伝統を築く

世界がいかに急速に変化しているかを指摘したマリオ会長エレクトは革新を呼びかけました。「テクノロジー、社会の期待、経済状況は常に変化しており、ロータリーもそれに合わせて進化しなければなりません。……革新こそが、変化するこの世界に私たちが適応する手段なのです」

- ▶ 私は協議会に参加する前から次年度地区基本方針等は考えておりました。
- ▶ そんな中マリオ会長エレクトのメッセージ開口一番衝撃を受けました。マリオ会長エレクト、RIも最重要項目に挙げていたのは『**会員増強**』私は共感しない訳はありません。その理由等は3月2日の「DTLS」にて報告させていただきます。

▶ まとめ・成果

- ▶ 本協議会を通じて、ロータリーの理念や活動の方向性について理解を得ることが出来ました。また、他国のクラブ、ロータリアンとの交流を通じて新たな視点やアイディアも 得ることが出来ました。今後は学んだ事を地区やクラブに還元し、より良いロータリー活動の推進に努めて参ります。



「おい！レオが痙攣している！」主人が大声で私を呼んだ。

朝食が済み、出社する前のバタバタしている時間だった。2階から慌てておりてみると痙攣は治まっていたが、レオはいつものダイニングの小さなベッドに弱々しい姿で横になっていた。かかりつけの病院は一週間おきに土、日曜日でも診察してくれる。9時の診察に合わせ早めに病院へ向かった。診察までレオは丸くなって私の腕に静かに収まっていた。レオはウエスト・ハイランド・ホワイト・テリア(通称ウェス

ありがとう レオ

地区DEI推進委員会 委員長 源新 育子
(八戸北RC)

ティー)と呼ばれ、我が家では7歳でなくなった同じ犬種のジョイに続いて2番目の弟である。

レオは生まれて2ヶ月過ぎくらいで真綿のようにコロコロとした可愛い姿で我が家にやってきた。もうすぐ3月3日があれば16歳の誕生日が来る……。

いつもは私のカバンに顔を突っ込んで、ハンカチやティッシュ、何でもかんでも取り出しじっとしていないのに、まるで眠っているように静かなレオだ。車で待っていたら呼び出しのベルが鳴って診察室に向かっ





た。1年くらい前から腎臓の数値が高いと言われ、指定された食事と薬を飲み続けてはいた。今年になってから数値がまた上がり1週間に1度くらい点滴もしていた。先生は「もう一度痙攣したらすぐ連れてきてください。」と言って点滴をしてくれ、明日も連れてきてください。」と言った。翌日2月16日は私も主人も欠かせない用事があった。先生は「朝一番に連れてきてくれれば迎えは夕方です。」と言ってくれた。夕方迎えに行ったら心持ち元気になったように見えて少しほっとした。18日は主人が出張で留守だったので、なるべく家を空けないようにしていたが、夕方またレオは軽い痙攣をおこした。私は急いで病院に向かった。いつも込み合っているのにすぐ診てもらえた。先生は血液検査をした後に別な検査もしてみますと言ってしばらく待たされた。診察室に呼ばれ見せられたのはレオの心臓の心電図や、超音波の画像だった。「心筋症」で不整脈だと。心臓はプルプルざわざわ震えているようだった。逆に腎臓の数値がいつもの3分の1くらい良くなっているという。この状態だといつ息が途切れてもおかしくないという。できるだけ安静にして食事と薬をちゃんとのませてくださいと。泣きそうなくらい震えるレオの心臓が頭から離れない。初めて心臓が悪いことが分かった。いつからだろう？年齢だから仕方がないと先生はおっしゃる。安静にしていたら、薬を飲んでちゃんと食事を取れたら元気になるのだろうか。そう思いながらその日はレオと一緒に眠れない夜を過ごした。出張から戻った主人は、レオが食べやすいゼリー状やミンチにした食事やおやつや飲み物を30個以上も買って

きて自分でレオの食事を準備した。20日の夕方レオは食器にへばりついてそれを全部食べ薬も飲んだ。「ああ～レオはえらい！」きっと大丈夫と思った。

その夜11時45分頃レオがバタンバタンと音をたてた。立つことが出来ない、動けない。ただぐったりして不自然な息をするだけだ。毎日寝る時は私のベッドの下にレオのベッドがありその隣で主人がいつも、レオが目をつむるまで撫でてあげていた。私たちは大きくなったり小さくなったり、異状な息づかいをするレオとのお別れの時が来たことを察知した。

「レオー!! レオー!!」レオは身動きできない状態の中でも、私たちの目を何とも愛おしい目でちゃんと見ていた。私たちはレオの体を撫でながら「レオありがとう レオありがとう」と言い続けた。レオの体は足から少しずつ冷たくなっていきやがて息絶えた。2月21日0時15分、レオはレオの命を全うした。私たちは大声で泣きたい放題泣いた。

私たちは、レオのおかげでどんなに豊かで幸せな楽しい人生を送ることが出来たか言い尽くせない。レオの存在は無償の愛の塊だ。言葉も何もいらぬ。この命の重さを人間が最も尊ぶべきものではないのか。DEIなんて理屈や言葉では何一つ証明できないし伝わらない。自分の心に恥じないよう生きなければ、天国でレオには会えないと思った。

タイ王国 学校の水と衛生環境を改善へ (グローバル補助金事業)

地区グローバル補助金委員会 委員長 須藤 朗
(野辺地RC)



タイ王国マレー半島中部のナコーンシータマラート地区にあるロータリークラブの調査を基に、学校や地域社会での衛生環境の改善を目指しRI第2830地区(青森県)とRI第3330地区(タイ)が共同提唱し、立案実施したGG(グローバル補助金:GG2460724)プロジェクト「Water, Sanitation and Hygiene in Schools」が完了し、視察確認のために花田勝彦ガバナー、工藤武重PDG、成田秀治PDG、佐藤健一DRFC、成田和代地区公共イメージ向上委員、私の計6人が機中2泊、現地2泊の日程で赴きました。

プロジェクトの概要は、地元のロータリー関係者が調査を行った結果、老朽化設備の修理から教育プログラムまで幅広い支援と改善

が必要であることが判明しました。ロンピブン学校、パンヤサラタム財団学校、キリラットパッタナ学校の3校が対象となり、老朽化した浄水器やトイレ、手洗い場の修理、排水処理タンクの設置が計画されさらに、衛生教育や環境学習プログラムの導入により、長期的な衛生意識の向上も図るというものです。各学校では、水管理委員会を設置し、地元技術者による定期点検やトレーニングを実施する。また、飲料水の販売収益(生徒・先生は無料、近隣住民は有料)を活用し、設備維持のための資金を確保するという計画になっております。

総予算32,100ドルのうち、地区財団活動資金(DDF)から17,000ドル(D3330が\$3,000、



D2830が\$14,000)、現金拠出1,500ドル(現地2つのロータリークラブ)、さらに世界基金(WF)から13,600ドル。

1番目の視察先は、パンヤサラタム財団学校でイスラム系の衣装をまとった大勢の生徒たちが道路両脇に長い列を作り、日の丸とタイの国旗を振って私たちを大歓迎してくれました。歓迎と引渡の式典は、生徒10人によるタイ独特のリズムに乗った唄から始まり、校長先生、担当ロータリークラブ会長、ウィチャイDPG、パッチャラDRFCらが今回のプロジェクトのこれまでの経緯と期待される成果について語り、感謝の言葉を述べられました。これに対して花田ガバナーは、D3330との友情とこれまでの繋がりの上に今回のプロジェクトが進んで完成し、今後は有効に維持して使って欲しいと話しました。続いて、浄水器設置所に移動してテープカットのセレモニーをしました。そして、器機などの説明を受けたりコインを投入し使ってみたりしました。他の学校においても同じような大歓迎ぶ

りで生徒たちの唄やきれいな衣装を纏ったダンス、ヤシの実ジュースやドリアン、美味しいタイ料理など恐縮するほどの歓待ぶりでした。ここまではGG2460724についての視察確認でしたが、その他に今後対応して欲しい学校二校(カオパンクライ学校、ワットパラサット学校)も訪問しました。どちらの学校も生徒数に見合ったトイレ設備ではなく、予算も足りていない、甚だしいところはトイレ排水パイプが詰まってから17年も更新できずそのままになっているという悲惨な状況も見てきました。トイレの改修と浄水器の設置を何とかして欲しいとのことでした。

これらの活動は、ロータリー重点分野の一つ「水と衛生」を実現する活動であり、SDGs持続可能な開発目標の実現でもありません。

私たちのグローバル補助金プロジェクトにより、生徒や教職員、地域住民が安全な水と衛生的な環境を享受し、地域全体の健康と生活水準が向上することが私たちの願いです。



2016年には、須藤朗GG委員長が水対策委員長として鈴木ガバナー年度にタイへ浄水器を寄贈し、視察した模様を寄稿しています。
〔ロータリーの友〕2016年10月号より転載)

グローバル補助金

きれいな飲み水を届ける ——タイに浄水器を設置

2015 - 16 年度 第 2830 地区 水対策委員長
須藤 朗 (野辺地 R C)

第 2830 地区では、グローバル補助金を活用し、タイ・第 3330 地区と協同で、タイで浄水器の設置事業を実施しています。最初に、タイに浄水器を贈ったのは 2012 - 13 年度で、以来、毎年実施し、今回が 4 回目のプロジェクトとなります。

設置したのは、首都バンコクから 700km 以上離れた南部、マレー半島の中間辺りにあり、かつて仏教の中心地として栄えたアユタヤ朝時代に活躍した日本人の山田長政 (1590 頃 ~ 1630) が最期を遂げた地でもあるナコーン・シー・タマラート。5 校に浄水器を設置することができました。

今回のプロジェクトは、第 2830 地区の地区財団活動資金 (D D F) から 1 万 5,000 ドル、第 3330 地区の D D F から 5,000 ドル、国際財団活動資金 (W F) から 2 万ドルの上乗せをいただいた、4 万ドルのプロジェクトです。

3 月 16 ~ 21 日、私たちは、これらの浄水器の設置状況の確認と第 3330 地区の地区大会に参加するために同地を訪問しました。参加者は鈴木唯司ガバナー (当時、以下同)、長嶺康廣ガバナーエレクト、工藤武重直前ガ



バナー、同夫人・孝子さん、同令嬢・貴恵さん (元青少年交換学生で、今回は通訳として参加)、土橋伸行地区会計、そして私の合計 7 人でした。

訪問する先々で、子どもたちや先生、地域の人たちの大歓迎を受け、浄水器設置所の開所式のような感じでセレモニーが行われ、校長や教頭先生から「経済的にいつも簡単には水を買うことのできない家庭の子どもがほとんどです。この浄水器ができたことにより安全で信頼のできる水を無料で手に入れられるようになり、大変喜んでいました。本当にありがとうございました」という感謝の言葉が述べられました。

続いて地元のロータリークラブの会長から「浄水器のきれいな水のおかげで安心して水を飲むことができるようになり、良かったと思っています」。また、地元の関係者は「今まで近くの川の水を使っていました。その水はきれいではありませんので、このプロジェクトにお礼を言いたいです」と続けました。



このプロジェクトの責任者である第3330地区のウィチャイ・マニーワラキャラキエットバスターからは「この地域のロータリークラブや地域住民、そして日本から長い旅路をここまで来てくれた方々、皆さんの協同プロジェクトで行うことができました。安心して飲める水がなくて、健康上、大変心配していましたので、このプロジェクトを行うことに決めたのです。どうぞ、大切に 부탁드립니다」との言葉がありました。

鈴木ガバナーからは「今日は、浄水器の引き渡し式に皆さんとともに出席でき、うれしく思っています。このプロジェクトは、第3330地区と協同のものであり、ウィチャイさんをはじめとして第3330地区のロータリアンにはお世話になり、感謝申し上げます。ロータリーは、水の問題に関心があり、力を注いでいます。これからもこのプロジェクトを続けていきたいと思っています」とあいさつ。そして、子どもたちにお土産として、青森から持参しただるまの消しゴムを、だるまについて説明しつつ手渡しました。

その後、浄水器設置場所に案内されました。これらの浄水器が設置されている建物は、地域や学校の予算から支出されているという説明を受けました。



ロータリー財団の6つの重点分野の一つである「水と衛生」のプロジェクトについては、世界中で数多くのロータリアンが取り組んでおり、あらためて知識を深める行動を起こし、今一度、「水と衛生」の問題について皆で考えたいと思います。

その取り組みの中で、世界の相互理解、親善、平和を前進させるロータリーの目的にかなうものになると考えることができます。そして、援助した地域の人々に喜ばれ、また、鈴木ガバナーからお土産の消しゴムをもらい、目を輝かせていた子どもたちにも長く語り継がれるような成果を生むことを夢見て、このプロジェクトを継続していきたいと思いました。（青森県）



グローバル補助金事業視察タイ旅行

2024-25年度五所川原イヴニングRC 会長 成田 和代



今回、初めてグローバル補助金事業視察旅行に参加させて頂きました。以前より、東南アジアの学校に行ってみたい！と考えていた私はタイの小学校を訪問することを知り、第2830地区の「タイの水事業」についての知識も何もないまま、気軽に参加しました。

参加してみると第2830地区、タイ第3330地区のガバナーやPG他、地区関係者とそうそうたる方々に囲まれ、常時恐縮してしまう視察となりました。

そんな視察でしたが「百聞は一見に如かず」で現地の方々に会って話を聞き、様々なことに思いを巡らせることになりました。

今回のテーマは「水と衛生」です。ヒトの体の70%は水分であり、生命維持に水は欠かせません。水問題というと安易に水不足とと思っていましたが、タイでは水不足ではなく、常用する水が汚染されており、健康被害につながっているとのこと。これまでの第2830地区の浄水器設置はその水をきれいにし、住民の健康を取り戻すための事業であったということでした。

水の汚染は戦争や現在のゴミ問題等、様々な要因によって土壌が汚染され、発生していました。

タイでの事業は当初、識字率向上のための

事業を展開していたそうです。その時代によってニーズも変化するため、事業もまた変化しています。ある程度、社会が発展してきている今、土壌改良やゴミ処理問題等、他の事業に形を変えていく日も遠くはないのかもしれませんが。

旅ではその土地でもてなされるものは有難く頂戴するというのが私の流儀です。今回も沢山のおもてなしを受け、辛い・甘い・酸っぱい、何でも頂きました。特に果物の王様ドリアン(においがきつい)。現地の食

べ方(もち米を甘く炊いたものと一緒に)を大量に勧められ、完食「アロイ！(美味しい)」。それを聞いたタイの方々の「良かった～」という嬉しそうな顔が忘れられません。

今回は観光地を巡ることはありませんでしたがたくさんのロータリアンや地域の方々と出会い、タイの空気・風土に触れ、多くの得難い感動を頂きました。

私をあたたく受け入れて下さったタイ3330地区の皆さま、花田ガバナー・工藤PG・成田PG・佐藤委員長・須藤委員長には本当に感謝しています。ありがとうございました。





地区補助金奨学生レポート



地区補助金奨学生
佐藤 和美

八戸南RC推薦の地区補助金奨学生、佐藤和美さんです。

2003年8月生の21歳です。

八戸工業高等専門学校(建築環境システム学)卒業後、2024年4月から、豊橋技術科学大学3年(建築・都市システム学課程)に編入しました。

2024年9月、英国シェフィールド大学に留学(学士3年、修士1年)。

スラム街について研究したいと思っているそうです。

資格・検定は、実用英語技能検定2級、TOEIC 940点、IELTS overall 6.5

将来の夢は、誰もが平等にライフライン・教育・雇用へアクセスでき、年齢・ジェンダーに関わらず、自らの力を発揮できるような社会をつくることだそうです。

[コースについて]

2024年9月からシェフィールド大学のUrban Studies and Planningというコースに進学しました。社会学に分類されており、都市計画学のような分野です。各年、2つの学期で構成されており、現在一学期目を終えました。

[学校について]

シェフィールド大学は国内で最も大規模な学生団体(student union)があることで有名で、学業以外の、societyと呼ばれるクラブ活動運営や、学生同士のコミュニティ醸成などの役割を担っており、毎日何かしらのイベントを行っています。Student Unionは大学とは別の独立した機関として成り立っており、ソーシャルライフだけでなく、大学の教育にも重要な関心を持っています。私はその

一部であるAcademic representativeという役割に参加してみました。この役割は、学生によるコースに対する満足度や改善すべき点を学校側に伝え、コースの質を高めていくことです。教育を受ける権利が満足されているか、バイアスのない教育が受けられているか、教員からのフィードバックは適切かなど、学生自ら、学びへのアクセスのしやすさや質の高さを評価することが大切と考えられており、学生と学校側の会議では、「Our/your voice matters」という言葉が飛び交い双方のより良い大学を目指した、積極的な関わり合いが見られました。

[勉強について]

一年目ということもあり、今学期は5つのモジュールを通して幅広い基礎的な事象を扱いました。古代文明と都市の始まりから、帝国植民主義が都市計画に与えた影響や産業革命時のヨーロッパにおける都市の発展、現代の都市が直面している気候変動や不法居住地の拡大など様々な問題まで、どのような社会思想や計画理論が提唱され使われてきたのかを学びました。日本で学んだ都市計画とは、注目している範囲や視点がヨーロッパ寄りであり少し異なりました。

[生活]

現在は他の学生とハウスシェアをしています。彼女達は全員イギリス出身なのですが、それぞれのアクセントが地方色を持っておりアクセントに意識して会話を聞くととても面白いです。ハウスパーティーやハウスディナー、一緒に映画を見たり、お茶を飲みながら雑談したり、彼女達のおかげでとてもいい時間を過ごしています。クリスマスはリヴァプール出身のハウスメイトの実家にお世話になりました。教会に行き、ナティビティを見てクリスマスディナーをいただき、家族でゆったり過ごし、日本のお正月のようなものだと感じました。チャームिंगなスカウスアクセントを聞きながらリヴァプールの貿易や産業、音楽の歴史を楽しみました。

地区職業奉仕フォーラム開催報告

地区社会奉仕・職業奉仕委員会 委員長 岩岡 隆雄
(八戸東RC)



国際ロータリー第2830地区、社会奉仕・職業奉仕委員会では2月8日土曜日八戸パークホテルにて、参加者45名で職業奉仕フォーラムを開催しました。

講師の国際ロータリー第2750地区東京八王子南ロータリークラブ大本山高尾山薬王院貫首の佐藤秀仁氏には前日入りをお願いしました。

前日の金曜日は、八戸東ロータリークラブの創立記念夜間例会に出席していただきご挨拶でフォーラムの講演概要を説明していただきました。

当日は、趣旨説明、花田ガバナーの挨拶のあと、佐藤貫首から講話をいただきました。テーマは「霊気満載なぜ人々がこの山に集うのか」

サブタイトル、(人間が人間らしく生きるためには)で講演を頂きました。高尾山は東京都の中で西に位置しており八王子市内の標高600mの山に薬王院があります。この山で修験道が行われているそうです。

この場所は日本遺産に指定されており、山頂付近までケーブルカーで気軽に出かける事が出来インバウンドもあって年間350万人の観光客が集まる場所になっています。



講演では、六波羅蜜を大切にされていると説明していただき

1. 布施ふせ：惜しみなく施しをする
2. 持戒しがい：仏の定めた戒律を守る
3. 忍辱にんにく：耐え忍ぶ
4. 精進しやうじん：怠けずに努力する
5. 禅定ぜんじやう：心身を静め、静かに物事を見つめ考える
6. 智慧ちえ：これまでの五つの行いが尊いと判断出来る心



これはロータリーでは職業奉仕と読み替えて過言ではないと感じました。職業奉仕の木である土壌としっかりと地中に伸びる根っこの大切さと重ねる事が出来ると思います。

後半はワークショップで職業奉仕を深めて頂きました。6～7人のグループに分けて、講演を聴いた感想と職業奉仕の繋がりやクラブでの職業奉仕に関わる活動をテーマに60分話し合いが出来ました。これは聞き手の視点の違いを深めそれぞれの目線で何かを掴みとって頂けたのではないかと感じております。

今回は、講演とワークショップの組み合わせによりそれぞれの感じ方の違いから学べる工夫をしてみました。

結論を出さないワークショップでしたが、意見の違いを認め合う事の大切さは感じて頂けたと思います。



映画「じょっぱり」看護の人 花田ミキ 上映会の報告 ②

地区DEI委員会 委員長 源新 育子
(弘前西RC)



「じょっぱり - 看護の人花田ミキ」につきましても、映画製作のクラウドファンディングに協力したことがご縁で、今年度の事業としてポリオプラス委員会とDEI委員会が、それぞれ弘前会場は2025年1月18日(土)、八戸会場は翌日の1月19日(日)に無料上映会を開催することとなりました。上映会の決定から実施まであまり時間がなく、映画会社に正式申し込みから、会場の決定など弘前は成田ポリオプラス委員長が中心に動いて下さり、八戸会場はDEI委員会でズーム会議などをしながら、私の方で進めさせていただきました。ポスターの作成に至っては、写真や文字などの使用可能な素材は送られてきたも

の、文字とイラストの組み合わせができなかったり、写真に文字が入れられなかったり、いろいろ制約がありましたが、なんとかインパクトのあるポスターができたと思います。公共イメージ委員会の協力もいただき、フェイスブックなどSNSを活用してアップして頂きました。予算的な事もあり最終的に弘前と八戸を合わせてA3ポスター100枚のみ作りました。八戸会場は市内の各ロータリークラブさんや公民館、街中などに掲示させていただくよう依頼し、町内会などには私の方でA3カラーコピーを35枚ほど配布いたしました。当日の実働部隊はやはり地元南グループの協力をお仰ぎ、八戸北クラブ、八戸西クラ

ブ、八戸クラブ、中央ロータリークラブ、八戸南クラブさんから総勢22名、そして八戸東高等学校インターアクトクラブ8名、顧問1名が募金活動など頑張ってくださいました。お客様は予約なしの先着300名となっているので、2時開場なのに12時頃からポツポツ見えられ、「人が一杯で入れないと困るから早く来ました。」と、気づけば長い列ができておりました。会場的には500名まで座れるので、ロータリアンや関係者を入れても100名はゆとりをもっておりましたが予想以上に来てくださったと思います。一般の方には人数の把握やロータリーの広報も兼ねて「ロータリーについて」と「ポリオについて」の説明が書かれた両面A4コピーを入り口で320枚お渡ししました。上映15分前にはステージ側から見ると会場が満杯に見えました。アナウンスが入り最初は5分程度の「ポリオとロータリー」というビデオをながしてから、花田ガバナーのご挨拶があり、いよいよ映画

の上映に入りました。内容的には地元の話なので身近であり共感する部分が多々ありました。時代背景からみえる貧困や教育、知識など人間の根源的な違和感が、観覧席の多くの人々に強いメッセージを投げかけているようで、あちらこちらからすすり泣くような声がありました。具体的にはポリオに特化した内容ではありませんが、何の危機感もなく考えていたポリオについて、根絶することの意味を改めて認識したという声が多く聞かれました。帰りには皆さんが募金のために並んで下さり、10万540円集めることができ、弘前の方と合わせて約13万円がポリオに寄付されました。ロータリアン関係の来場がもっと多くても良かったのではないかと思います。当クラブの中では「クラブで企画してもっとたくさんの人に見てもらい」という声も出ておりましたが、ひとまず無事に終わることが出来て安堵しております。



会場外ではインターアクトの皆さんの協力で、ポリオプラスへの募金活動も実施しました。



ポリオプラス・ソサエティ認証のお知らせ

山崎淳一PG(五所川原RC)、今井高志PG(弘前RC)が、ポリオプラス・ソサエティに認証され、2月23日に認証状とピンバッジを贈呈いたしました。

このポリオプラス・ソサエティというプログラムは、毎年100ドルをロータリー財団の「ポリオプラス基金」へ寄付することをお約束いただくものです。

昨年ポリオワクチン投与のため、パキスタンに行っていました。実際にポリオワクチンを投与し、ヘルスワーカーの活動を目の当たりにすると、この活動を支えるための資金の大切さを実感いたしました。

1ドル154円(2025.2月ロータリーレートですと15,400円)です。1日あたり42円と、負担額としてはさほど大きくないので、是非多くの方にご登録いただきたいと思います。

いや、自分は行動で示す、という方は、パキスタンでのワクチン投与活動にご参加いただければ幸いです。



「地区クラブ活性化ワークショップ」 開催のお知らせ！

2025年4月26日(出)13時から、ホテルサンルート五所川原で行います。

- ① クラブ活性化のための会員増強の取り組み
- ② クラブを元気にする3-Year Rolling Goals
- ③ 2025年規定審議会の報告

の3つのテーマでワークショップを行います。地区初の試みです。クラブの現会長幹事、次年度の会長幹事、会長ノミネーは、是非ご出席ください。

テーマに興味のあるロータリアンの方はどなたでもご参加いただけます。

3月に中旬ころには地区事務所よりご案内いたしますので、各クラブで参加者の取りまとめをお願いいたします。懇親会(17時から19時を予定)も用意し、能登地震、豪雨への支援も行いますので、ご協力よろしくをお願いいたします。

登録締切は3月17日です。札幌での開催は出席しやすさではまたない機会です。台湾のクラブやロータリアンとの交流のある方だけでなく、新たな交流の機会を求める方も是非ご登録下さい！


第9回 札幌大会

日台 ロータリー親善会議

2025年 5月31日(土)

会場：グランドメルキュール札幌大通公園

プログラム

受付・友愛の広場	13:00～
式典	15:30～
懇親会	18:00～

ご好評につき
**登録・締切
前倒し!**

参加登録について

クラブ事務局を窓口として、各地区ガバナー事務所を通してご登録をいただきます。

登録開始 2025年 2月 10日(月)
※定員になり次第締切となります

登録・変更締切 2025年 3月 17日(月)

入金締切 2025年 4月 21日(月)

登録料 会 員… 28,000円
同 伴 者… 15,000円

お早めに登録を! (先着順)

**2月10日(月)
登録開始!**

ライラックの花が咲き、すがすがしい風がそよぐ時期に札幌で開催される日台ロータリー親善会議札幌大会。台湾側ではすでに250名ものロータリアンが登録を済ませており、首相までもが参加を検討する熱気に満ちています。この歴史的な親善の場で、台湾からのロータリアンと一緒に歓迎しませんか？

2月10日より、先着順で受け付け中を開始致します。台湾との絆を深め、交流を楽しみながら友情を築ける絶好のチャンスをお見逃しなく! 未来に続く友好の架け橋を作りましょう! 親睦会議の前日には、ゴルフ会や小樽への日帰り旅行、札幌ビール園での前夜祭など、楽しいイベントが盛りだくさん。詳細は、別紙の各ご案内をご確認ください。

札幌大会実行委員長 羽部大仁(札幌南RC)

札幌大会の各イベントについて

(1) 親睦ゴルフ会 2025年 5月 30日(金)

▼札幌国際カントリークラブ 島松コース
参加費：5,000円(1名)
※100名様限定 / 先着順
※プレイ代は各自ゴルフ場にてお支払いお願い致します。



(2) 親睦日帰り旅行 2025年 5月 30日(金)

▼予定の行程
北海道神宮>>小樽運河散策>>青塚食堂(昼食)>>札幌卸売市場(場外)>>ホテル経由>>サッポロビール園到着後(停車のみ)、終了
参加費：10,000円(1名)
※80名様限定 / 先着順



(3) 前夜祭 2025年 5月 30日(金)

▼サッポロビール園
集合時間：18時
参加費：10,000円(1名)
※日本 100名様限定 / 先着順



各種お問い合わせ先

札幌大会実行委員会事務局
(札幌北ロータリークラブ事務局内)

Mail : rid2510dei@gmail.com



お問い合わせフォーム

JAPAN Portal Site でも最新情報をご覧頂けます。
<https://www.japanrotary.club/>





会員動向

【入会者】



折館 直
(十和田東)
1月23日入会



平川 新介
(つがる)
1月21日入会



足立 和江
(弘前)
1月6日入会



阿保 康雄
(青森モーニング)
1月6日入会



細越 健太郎
(八戸)
1月8日入会



川井 雅恵
(八戸南
さくらエトR衛星)
1月7日入会



若松 聖子
(八戸南
さくらエトR衛星)
1月7日入会

【ご逝去会員】

謹んでご冥福をお祈りいたします。



中村 洋一（青森北東）
1月3日ご逝去



福士 悟（弘前東）
1月16日ご逝去

【ロータリー財団寄付】



松山 隆志
(野辺地)
PHF+4



鎌田 秀幸
(十和田東)
PHF



田中 幹志
(十和田東)
PHF+1



柿本 聡
(十和田東)
PHF+3



寺田 明代
(五所川原)
PHF+2

【ロータリー財団寄付】



佐藤 健一
(青森)
メジャートナーレベル 2



野澤 俊雄
(八戸南)
PHF+1

【米山記念奨学会寄付】

<米山功労者>



阿部 哲也
(五所川原)
第5回
マルチプル



角田 浩志
(五所川原)
第3回
マルチプル



2025年1月会員数の増減及び出席率表

グループ	クラブ名	例会数	出席率 %	正会員数								My Rotary 登録率 %
				前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	女性 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	
東第一グループ	むつ (うち、むつ大畑)	3	80.00	51 (9)	0 (0)	0 (0)	51 (9)	3 (1)	50 (9)	2 (1)	1 (1)	27.45
	野辺地	4	86.37	13	0	0	13	2	13	0	0	100.00
	七戸	3	73.74	12	0	0	12	2	11	1	0	16.67
	東北	3	83.30	16	0	0	16	2	16	0	0	81.25
	むつ中央	3	63.00	20	0	0	20	0	20	0	0	15.00
	六ヶ所	3	60.00	38	0	0	38	1	32	7	1	26.32
	小計				150	0	0	150	10	142	10	2
東第二グループ	三沢	3	63.49	23	0	1	22	1	23	0	1	39.13
	十和田	4	74.00	35	0	0	35	10	34	1	0	28.57
	十和田東	4	45.60	28	1	0	29	4	25	4	0	51.72
	おいらせ	1	67.00	6	0	0	6	0	6	1	1	50.00
	三沢東	3	76.00	35	0	0	35	4	34	1	0	31.43
	十和田八甲	3	63.87	84	0	0	84	1	80	5	1	39.29
	小計				211	1	1	211	20	202	12	3
西第一グループ	五所川原	4	65.00	58	0	0	58	6	52	6	0	70.69
	金木	4	81.00	12	0	0	12	1	12	0	0	8.33
	鱒ヶ沢	2	61.70	17	0	0	17	2	16	1	0	35.29
	鶴田	2	81.20	8	0	0	8	1	8	0	0	37.50
	五所川原中央	4	44.00	25	0	1	24	2	25	0	1	44.00
	つがる	3	79.40	32	1	0	33	0	30	5	2	33.33
	五所川原イヴニング	2	46.00	25	0	0	25	7	25	0	0	56.00
	小計				177	1	1	177	19	168	12	3
西第二グループ	弘前	3	57.60	48	1	0	49	4	45	7	3	51.02
	弘前東 (うち、弘前東桜華)	2	64.30	11 (4)	0 (0)	1 (0)	10 (4)	4 (2)	13 (5)	0 (0)	3 (1)	50.00
	板柳	2	65.00	10	0	0	10	0	10	0	0	40.00
	黒石	2	81.00	23	0	0	23	3	20	3	0	47.83
	大鰐	3	65.00	9	0	0	9	0	9	0	0	33.33
	弘前西	2	100.00	33	0	0	33	6	30	3	0	60.61
	平賀・尾上	2	27.70	9	0	0	9	0	9	0	0	33.33
	弘前アップル	1	45.00	15	0	0	15	2	16	0	1	73.33
小計				158	1	1	158	19	152	13	7	
中グループ	青森	3	54.60	107	0	0	107	9	105	6	4	100.00
	青森北東	2	89.50	22	0	1	21	3	22	0	1	66.67
	青森中央	2	100.00	6	0	0	6	1	6	0	0	33.33
	青森モーニング	2	73.50	19	1	0	20	4	21	1	2	65.00
	小計				154	1	1	154	17	154	7	7
南グループ	八戸	4	74.10	65	1	0	66	0	65	2	1	39.39
	八戸東	3	100.00	47	0	0	47	0	46	1	0	55.32
	三戸	3	92.66	9	0	0	9	1	9	0	0	88.89
	五戸	3	80.50	12	0	0	12	1	12	0	0	50.00
	南部	3	80.60	9	0	0	9	0	9	0	0	44.44
	八戸北	4	68.80	38	0	0	38	7	38	1	1	52.63
	八戸南 (うち、八戸南さくらエイト)	3	100.00	41 (9)	2 (2)	0 (0)	43 (11)	13 (11)	39 (11)	7 (2)	3 (2)	88.37
	八戸中央	2	47.60	18	0	0	18	4	20	0	2	44.44
	八戸西	3	63.10	34	0	0	34	20	33	1	0	47.06
	小計				273	3	0	276	46	271	12	7
合計 40RC				1,123	7	4	1,126	131	1,089	66	29	52.35

※ () 内は衛星クラブの会員数です

期首会員数は2024年6月末会員数です
7月1日の会員数は1,098名です
1月末現在の入退会人数です

地区行事予定

2025年3月 水と衛生月間

月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(土)	米山奨学生 修了証書授与式	ホテル青森
2	(日)	地区チームラーニングセミナー	リンクステーションホール青森/ホテル青森
3	(月)		
4	(火)		
5	(水)		
6	(木)		
7	(金)		
8	(土)		
9	(日)	第4回全国RYLA運営委員会及び地区RYLA委員長合同会	ハイブリッド開催
10	(月)		
11	(火)		
12	(水)		
13	(木)		
14	(金)		
15	(土)		
16	(日)		
17	(月)		
18	(火)		
19	(水)		
20	(木)	春分の日	
21	(金)		
22	(土)	会長エレクト研修セミナー 東北多地区合同スプリングキャンプ(～24日) ※青少年交換	リンクステーションホール青森/ホテル青森 母畑温泉 八幡屋(福島県)
23	(日)	会長エレクト研修セミナー	リンクステーションホール青森
24	(月)		
25	(火)		
26	(水)		
27	(木)		
28	(金)		
29	(土)	中グループIM	ホテル青森
30	(日)		
31	(月)		



地区行事予定			
2025年4月 環境月間			
月日	曜日	内容	会場
1	(火)		
2	(水)		
3	(木)		
4	(金)		
5	(土)	十和田RC創立65周年	サン・ロイヤルとわだ
6	(日)		
7	(月)		
8	(火)		
9	(水)		
10	(木)		
11	(金)		
12	(土)	十和田東RC創立60周年	サン・ロイヤルとわだ
13	(日)	新米山奨学生とカウンセラーオリエンテーション	ホテル青森
14	(月)		
15	(火)		
16	(水)		
17	(木)	クラブ活性化セミナー2025(～18日)	JPタワー ホール&カンファレンス
18	(金)		
19	(土)	八戸南RC創立50周年	八戸パークホテル
20	(日)		
21	(月)		
22	(火)		
23	(水)		
24	(木)		
25	(金)		
26	(土)	地区クラブ活性化ワークショップ	ホテルサンルート五所川原
27	(日)		
28	(月)		
29	(火)	昭和の日	
30	(水)		

みなさんのロータリー活動をご紹介ください ~記事投稿のお願い~

皆さまのクラブの魅力的な奉仕活動を、ガバナー月信から発信してみませんか？

本年度の月信は、ロータリアンの皆さまにより一層身近な情報源の1つになるようにしたいと考えております。奉仕活動の規模は問いません。

記事(右記参照)は毎月号募集しており、文字と写真共に多め、あるいは写真が多めの記事でも結構です。SNSへの投稿が不慣れなクラブの方も、月信に投稿頂けます。

是非、みなさんの活動をご紹介させて下さい!!

(提出先は地区事務所まで、締め切りは毎月24日)



編集後記

1月には、花田ガバナーをはじめ、地区内のロータリアンの皆さんがタイの国際ロータリー第3330地区にGG事業の現状視察と浄水器寄贈のため訪問しました。実は、私自身もタイと無縁ではなく、幼少期に父の仕事の都合でタイの首都バンコクに住んでいたことがあります。今でもその頃の思い出は、他よりも鮮明に覚えています。その中でタイの人々や気候等の全てが幼少期の私に非常に大きな影響を与えました。特に日常生活にタイ人がいた事は、私にとって単なる旅行とは異なった“ある種”のDEIの断片に触れた初めての瞬間だったように思います。子ども故にそれを素直に受け入れられたのでしょうか。その様に思いながら月信2月号を読んでいると、ふと、ロータリーの尊敬する先生(ガバナーメッセージ記載の「世界された80代のメンバー」の方)の言葉が頭の中に浮かびました。

それは遡る事半年前、私は「ロータリーのDEI」のヒントを探るために過去のクラブ会報を漁っておりました。その中で私の目に止まったのは先生の卓話でした。その締めくくりでは、『脳が本来求めている生き方とは何か？——それは違いを認めて、共に生きる(人に興味をもち、好きになり、心を伝え合い、支え合って生きていく)ことです。』(2014年2月「世界理解月間」の会報より)という言葉がありました。——何だか悩んでいる私にとっては、先生からの言葉が「今のまま、頑張りなさい。」と言っているように聞こえた気がして、まるでヒントを得たかの様に自然と納得しておりました。

本来、先生の言葉はDEIに限らず広義的に解釈されるものであったと思います。そのため、タイとDEIを関連付けるのは無理があったかも知れませんが、とにかく私にとって先生の言葉が、DEIを理解する上で必要なものだと思っています。

この様に、私が悩みながら取り組んだ先には、魅力的な組織(クラブ、職場等)を見る事ができるのでしょうか？その答えは、少なくとも自分自身が腑に落ちるように、活動の中で一つひとつクリアにしていく事で分かるのかも知れません。

ガバナー月信 編集後記担当 増田 卓也
(五所川原ロータリークラブ)